

ティーンズ通信

いろいろな秋み~つけた♪

夏が終わり過ごしやすくなりました。秋には「~の秋」というような、たくさんの言い回しがあります。秋は物事に熱中するのにいい時期で、収穫の季節です。今回はいろいろな秋の本を紹介しますので、実りの多い秋にしていきましょう！

芸術の秋（音楽）

「ピアノ調律師」

M・B・ゴフスタイン／作
現代企画室 Y933

デビー・ウィンストックは、活発でがんばり屋の女の子。彼女にとって、ピアノを調律する音は、他のどんな音楽よりも最高に美しい音でした。そんなデビーの夢は、おじいさんのような世界一の調律師になることです。

「チェロの木」

いせひでこ／作
偕成社 Y726

森の木を育てる祖父、そして、その木からバイオリンやチェロを作る職人の父、そんな家族のもとで育った少年は音楽に目覚めていく。

芸術の秋（演劇）

「影の王」

スーザン・クーパー／作
偕成社 Y933

アメリカの少年俳優が、突然16世紀にタイムスリップ。「真夏の夜の夢」の妖精パックを演じることになり、なんとシェイクスピアと共に舞台上に立った！ロンドンのグローブ座を舞台に繰り広げられるタイムファンタジー。

「幕が上がる」

平田オリザ／著 講談社 Y913

高橋さおりが部長となった演劇部は、新しく来た先生がきっかけで、大会の上位を目指し、真剣に演劇に打ち込んでいく。

脚本の作り方や演出の仕方においても参考になる、高校演劇を題材にした青春小説。

「アーモンド入りチョコレートのワルツ」

森絵都／作 講談社 Y913

3つの話からなる短編集。シューマン、バッハ、サティのクラシックの楽曲が題材になっており、読むとその曲を聴きたくなるかもしれません。

芸術の秋（美術）

「ジョコンダ夫人の肖像」

E・L・カニグズバーグ／著
岩波書店 Y933

中世イタリアの大天才、レオナルド・ダヴィンチ。彼は多忙な日々の中、なぜ無名の商人の妻の肖像画を描いたのだろうか？

自由奔放な子どもサライや、王女ベアトリチェとの日々が描かれた、等身大のレオナルド・ダヴィンチの物語。

「アート少女」

花形みつる／著
ポプラ社 Y913

校長先生に目をつけられ、県の展覧会に入賞しなければ、廃部になってしまう美術部。部長の根岸節子をはじめ、変わり者揃いの美術部は、はたして、この危機を乗り越えられるか？

「美術館へ行こう」

草薙奈津子／著
岩波書店 Y706

現役の学芸員である著者が美術館の仕事や魅力を解説。

将来、美術関係の仕事をしたい人から気軽に美術館へ出かけたという人までおすすめの1冊。

食欲の秋

「児童文学キッチン」

小林深雪／文 講談社 Y 596

「おいしいお菓子」というテーマから、『クマのプーさん』や『赤毛のアン』など児童文学の名作を紹介。

レシピも書いてあるので、物語を楽しみながら、お菓子づくりにもチャレンジしてみよう。

「13歳からの料理のきほん 34」

アントラム栢木利美／著
海竜社 Y 596

普段料理をしない人がいきなりレシピをみて料理をつくるのは難しいもの。

調理以前の心がまえや、料理の基礎知識をこの本で学ぼう。

読書の秋

「かつくら」

新紀元社 Y 019

年に4回発行されている小説ファンのための情報誌。

作家へのインタビュー、新刊のレビュー、読者の投稿など、小説を楽しむための情報が満載です。

「本を味方につける本」

永江朗／著 河出書房新社 Y 019

うんと速く読む、ツッコミを入れつつ読む、歯磨きをしながら読む…

色んな本とのつきあい方を紹介。自分にあった読書のスタイルを見つけるのに参考になります。

「いのちの食べかた」

森達也／著 イースト・プレス Y648

私たちが毎日のように食べている肉。牧場や飼育小屋にいる牛や豚が、食卓の上に並ぶまで、どんな過程を経ているのか、きちんと説明できますか？

普段はあまり考えない「食べること」や「人間」について考える1冊。

文化祭

「RDG 5」

荻原規子／著 角川書店 Y913

普段は引っ込み思案でおとなしい女の子だけど、特殊な能力をもつ泉水子が鳳城学園を舞台に活躍するシリーズ。

5巻では、生徒全員が戦国時代のコスプレをして参加する戦国学園祭が開催されます。

「クドリヤフカの順番」

米澤穂信／著 角川書店 Y913

省エネ主義の折木奉太郎や好奇心旺盛の千反田えるが活躍する古典部シリーズの三作目。

古典部で作りすぎた文集の完売を目指して、奉太郎は文化祭で起きた「十文字事件」の解決に挑む。

スポーツの秋

「一瞬の風になれ 1～3」

佐藤多佳子／著 講談社 Y913

サッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。とくに強豪でもない春野台高校陸上部に入部した幼なじみ2人の陸上青春小説。

「かまえ! ぼくたち剣士会」

向井湘吾／著 ポプラ社 Y913

体格も小さく、非力であることから剣道を離れた慧一。だが、高校の同級生龍心の勧誘で「でこぼこ剣士会」という同好会に入会することになった。そして、個性派揃いのメンバーたちと、部に昇格するため、地区大会優勝を目指す。

「文化祭企画・アイデア事典」

編集部／編 彩図社 Y374

パンフレット製作、装飾、舞台の大道具・小道具の作り方、買い出しのヒント…幅広い情報がのっているので、この本を読んで、文化祭を盛り上げよう!